

神奈川支部の主な取組(別添資料)

【目次】

- (1) 平成30年度第1回全国健康保険協会神奈川支部 健康づくり推進協議会資料
- (2) インセンティブ制度チラシ「皆様の取組で保険料率が変わる！！」
- (3) 健診受診勧奨チラシ「協会けんぽ加入者さま限定 横浜銀行特別金利定期預金のご案内」
- (4) メールマガジン勧奨チラシ「意外と役立つ情報をお届けします」
- (5) 柔道整復療養費周知リーフレット「ただしい接骨院・整骨院のかかりかた」
- (6) 年金事務所内出張相談窓口の閉鎖に関するチラシ・ポスター

1. 平成29年度の 保健事業の実施結果について

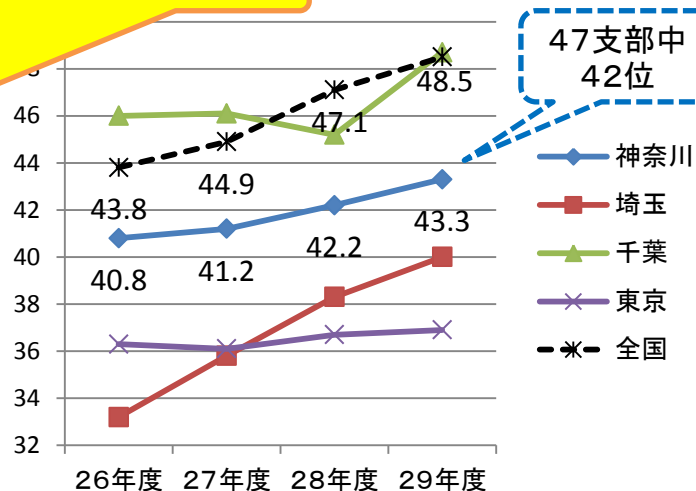
平成30年7月30日

1. 特定健診の推進

◆受診率の推移(%)

29年度は目標65.5%に対して実績43.3%

	26年度	27年度	28年度	29年度
神奈川	40.8	41.2	42.2	43.3
(参考) 埼玉	33.2	35.8	38.3	40.0
(参考) 千葉	46.0	46.1	45.2	48.7
(参考) 東京	36.3	36.1	36.7	36.9
全 国	43.8	44.9	47.1	48.5

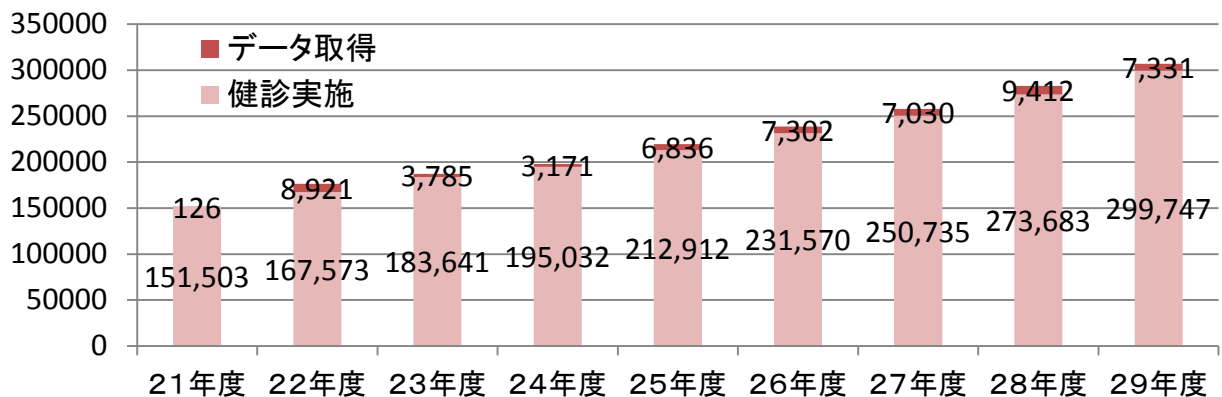


◆29年度受診率の内訳(%)

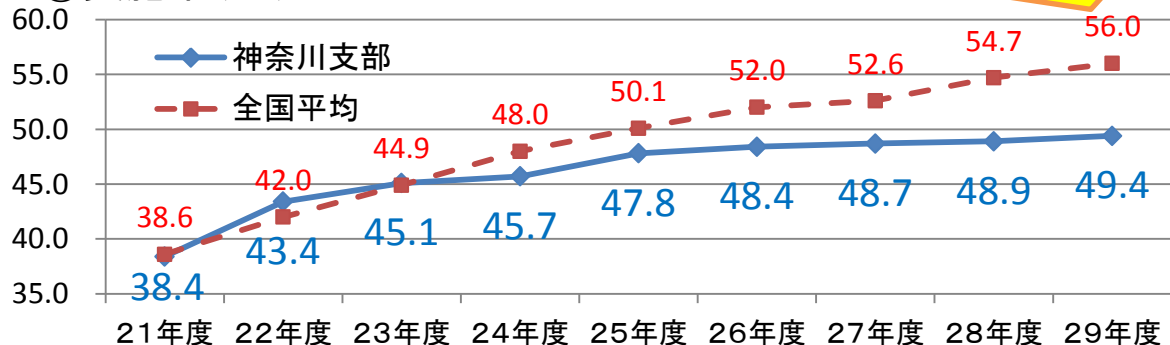
	生活習慣病予防健診(40~74歳)	事業者健診データ取得	被保険者計(左記2項目計)	被扶養者特定健診	合計
神奈川	48.2	1.2	49.4	21.0	43.3
(参考) 埼玉	39.2	6.4	45.6	20.5	40.0
(参考) 千葉	50.5	6.1	56.6	20.4	48.7
(参考) 東京	39.4	2.0	41.4	20.7	36.9
全 国	49.6	6.4	56.0	23.2	48.5

(1) 被保険者向け特定健診

①実施件数(件)



②実施率(%)



前年度実績対比

- 生活習慣病予防健診受診者数
(被保険者本人)
平成29年度 299,747人
(対前年同期 +26,064人)
平成28年度 273,683人
 - 事業者健診データ取得数
(被保険者本人)
平成29年度 7,331人
(対前年同期 △2,081人)
平成28年度 9,412人
 - 特定健康診査受診者数
(被扶養者)
平成29年度 36,024人
(対前年同期 +5,168人)
平成28年度 30,856人
- (目標) 受診者数 460,391人
(本人・被扶養者合計)

受診者	151,629	176,494	187,426	198,203	219,748	238,872	257,765	283,095	307,078
対象者	394,899	406,886	415,303	433,274	459,972	493,262	528,797	578,642	621,908

◆被保険者向け特定健診

	A.対象者数	計画数	B.実施件数	実施率B/A	委託健診 機関数	事業者健診取 得計画数	C.事業者健診 取得件数	D.総計(B+C)	実施率D/A	全国平均 実施率
	人	人	件		機関	人	件	件		%
21年度	394,899	162,100	151,503	38.4%	96	1,900	126	151,629	38.4%	38.6
22年度	406,886	164,001	167,573	41.2%	102	19,100	8,921	176,494	43.4%	42.0
23年度	415,303	182,300	183,641	44.2%	113	20,300	3,785	187,426	45.1%	44.9
24年度	433,274	197,600	195,032	45.0%	117	13,500	3,171	198,203	45.7%	48.0
25年度	459,972	207,600	212,912	46.3%	120	15,000	6,836	219,748	47.8%	50.1
26年度	493,262	210,173	231,570	46.9%	122	15,000	7,302	238,872	48.4%	52.0
27年度	528,797	237,950	250,735	47.4%	125	15,000	7,030	257,765	48.7%	52.6
28年度	578,642	325,174	273,683	47.3%	128	10,000	9,412	283,095	48.9%	54.8
29年度	621,908	382,243	299,747	48.2%	134	10,000	7,331	307,078	49.4%	56.0

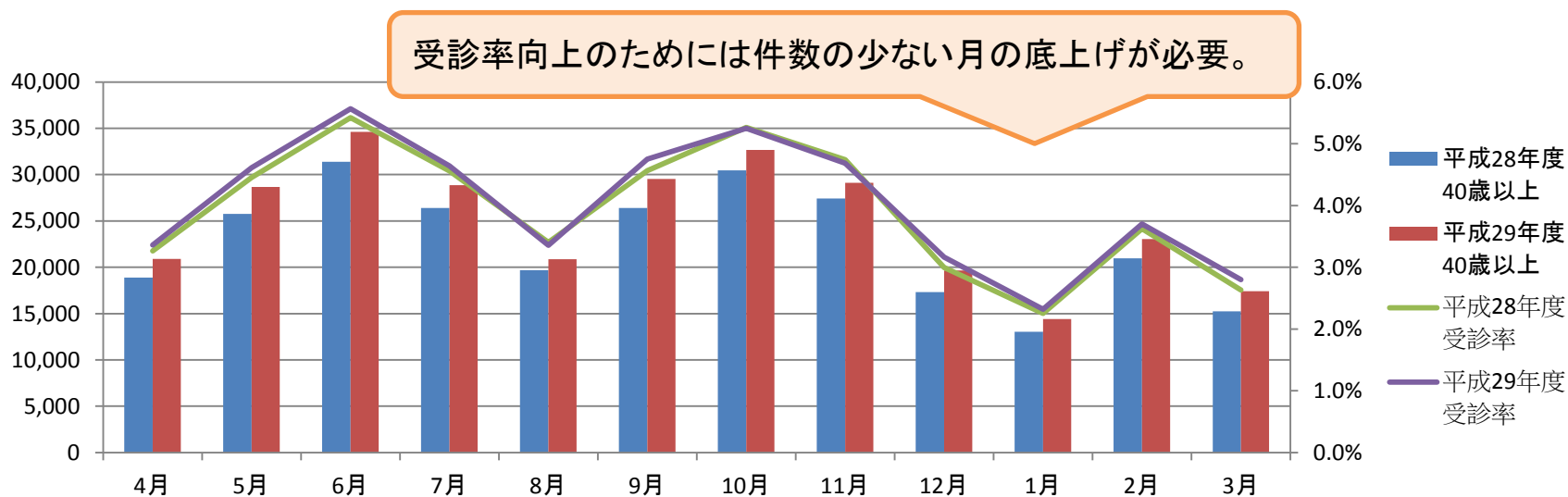
※対象者数は40歳以上75歳未満の年度末被保険者数

◆平成29年度健診実績(月別)

○生活習慣病予防健診

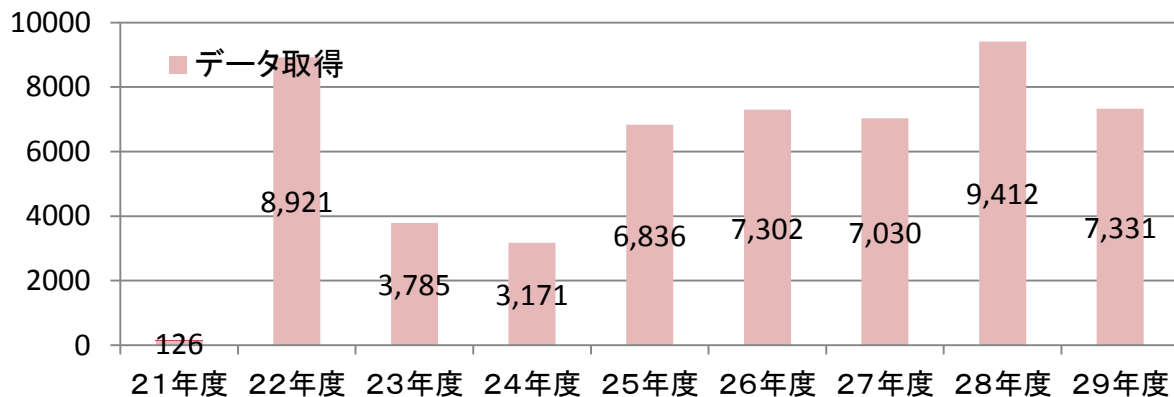
H29	健診対象者数(40~74歳)	621,908	目標受診者数	382,243
-----	----------------	---------	--------	---------

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	受診率	目標進捗率
平成29年度 40歳以上	20,886	28,670	34,612	28,847	20,866	29,543	32,663	29,129	19,664	14,426	23,027	17,414	299,747	48.2%	78.4%
平成29年度 事業者健診	54	714	18	0	71	140	90	2,234	829	1,689	970	522	7,331	1.2%	
平成29年度 受診率	3.4%	4.6%	5.6%	4.6%	3.4%	4.8%	5.3%	4.7%	3.2%	2.3%	3.7%	2.8%	48.2%	49.4%!	
平成29年度 35~39歳	3,149	4,474	5,909	4,887	3,629	4,789	5,423	4,996	3,363	2,510	4,757	2,807	50,693		
平成29年度 受診者計	24,089	33,858	40,539	33,734	25,726	35,106	37,749	34,726	23,003	20,872	26,804	20,743	350,440		

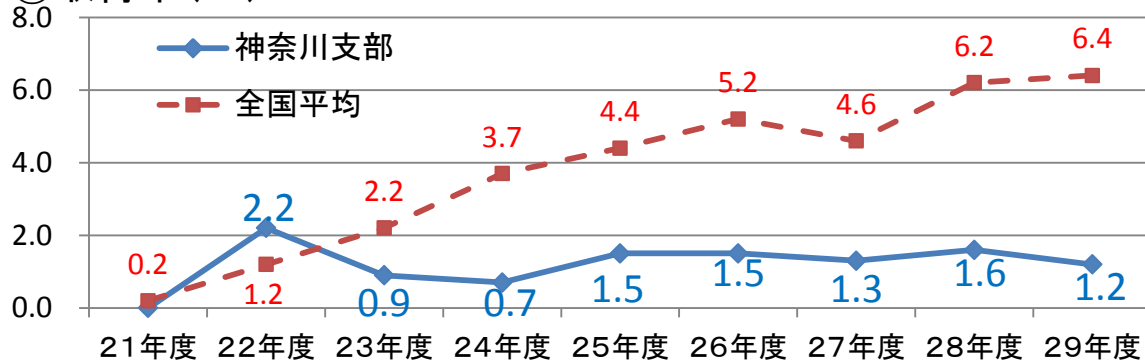


(2) 事業者健診データの取得

① 取得件数(件)



② 取得率(%)



前年度実績対比

○生活習慣病予防健診受診者数
(被保険者本人)

平成29年度 299,747人
(対前年同期 +26,064人)
平成28年度 273,683人

○事業者健診データ取得数
(被保険者本人)

平成29年度 7,331人
(対前年同期 Δ2,081人)
平成28年度 9,412人

○特定健康診査受診者数
(被扶養者)

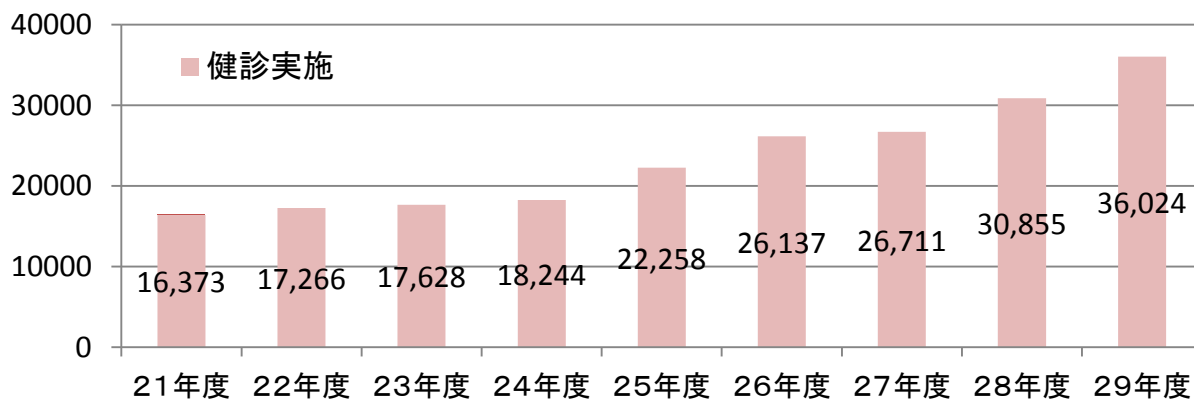
平成29年度 36,024人
(対前年同期 +5,168人)
平成28年度 30,856人

(目標) 受診者数 460,391人
(本人・被扶養者合計)

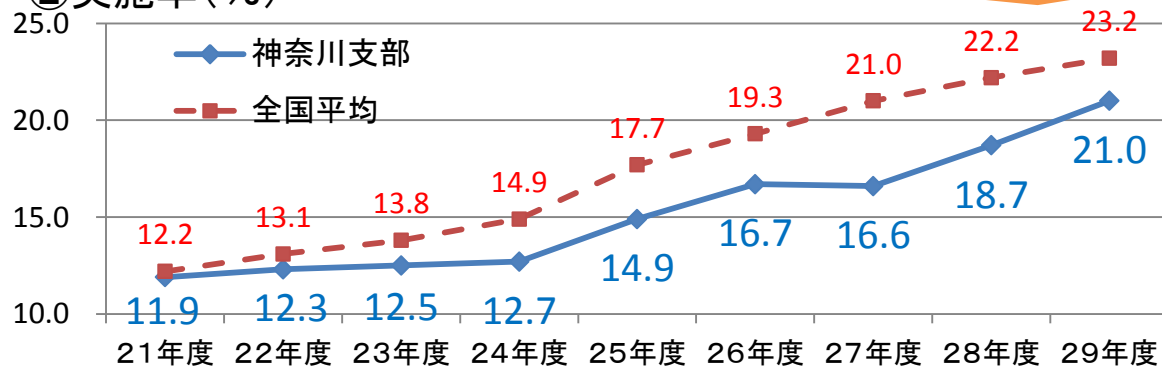
取得数	126	8,921	3,785	3,171	6,836	7,302	7,030	9,412	7,331
対象者	394,899	406,886	415,303	433,274	459,972	493,262	528,797	578,642	621,908

(3) 被扶養者向け特定健診

①実施件数(件)



②実施率(%)



前年度実績対比	
○生活習慣病予防健診受診者数 (被保険者本人)	
平成29年度	299,747人
(対前年同期)	+26,064人
平成28年度	273,683人
○事業者健診データ取得数 (被保険者本人)	
平成29年度	7,331人
(対前年同期)	△2,081人
平成28年度	9,412人
○特定健康診査受診者数 (被扶養者)	
平成29年度	36,024人
(対前年同期)	+5,168人
平成28年度	30,856人
(目標)受診者数	460,391人
(本人・被扶養者合計)	

受診者	16,373	17,266	17,628	18,244	22,258	26,137	26,711	30,856	36,024
対象者	137,635	140,122	140,942	143,855	149,496	156,240	161,160	164,831	171,258

◆被扶養者向け特定健診

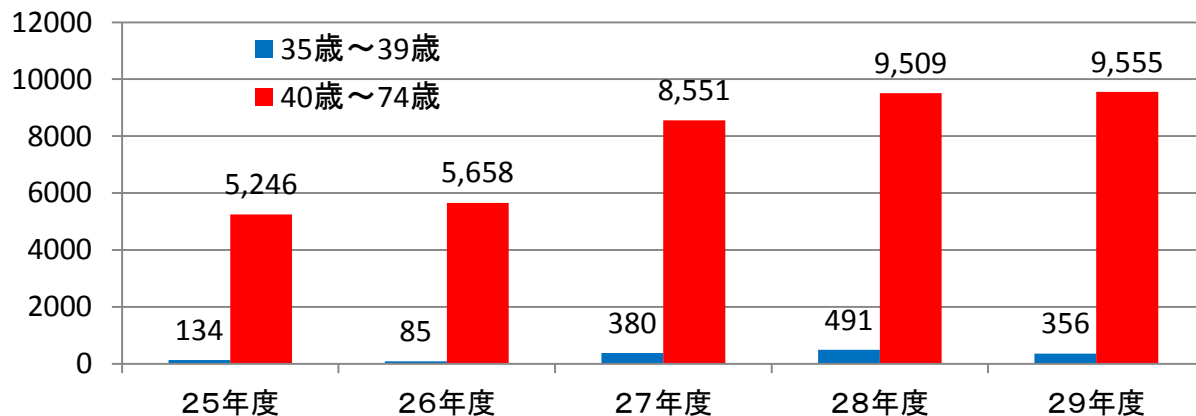
	E.対象者数	計画数	F.実施件数	実施率F/E	全国平均 実施率
	人	人	件		%
21年度	137,635	34,100	16,373	11.9%	12.2
22年度	140,122	73,900	17,266	12.3%	13.1
23年度	140,942	28,200	17,628	12.5%	13.8
24年度	143,855	21,100	18,244	12.7%	14.9
25年度	149,496	19,920	22,258	14.9%	17.7
26年度	156,240	22,011	26,137	16.7%	19.3
27年度	161,160	27,566	26,711	16.6%	21.0
28年度	164,831	31,562	30,856	18.7%	22.2
29年度	171,258	58,148	36,024	21.0%	23.2

※対象者数は40歳以上75歳未満の年度末被扶養者数

◆被扶養者向け生活習慣病予防健診(一般健診)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
契約健診機関数	89	102	105	106	106

	上半期(4月～9月)					下半期(10月～3月)				
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
35歳～39歳	58	53	151	206	189	76	32	229	285	167
40歳～74歳	2,460	2,906	3,748	4,466	3,872	2,786	2,752	4,803	5,043	5,683
	合計									
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度					
35歳～39歳	134	85	380	491	356					
40歳～74歳	5,246	5,658	8,551	9,509	9,555					



平成29年度の特定健診促進策

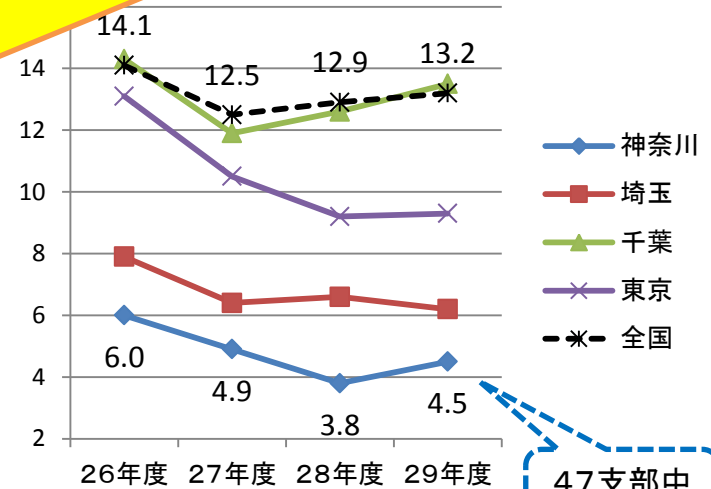
生活習慣病予防健診のための受診促進策	実施状況
①年度初めに対象事業所に対し一斉発送。新規適用事業所への案内・申込書送付	・新規適用事業所へ年4回、(7月2回・9月・12月)計10,061事業所へ案内送付
②任意継続被保険者への案内・申込書送付	・6月、8,104名に案内送付
③未受診事業所への受診勧奨業務を健診実施機関へ委託	・8月、対象事業所数の2129件を18健診機関へ委託
④他の団体との協働により、生活習慣病予防健診の広報を実施	・藤沢市の広報誌へ協会けんぽの健診について掲載
事業者健診データ取得推進策	実施状況
①労働局や商工会議所などの関係団体との連携を図り、事業者健診データの取得の推進	・労働局長名の文書を同封し、1月に293事業所へ勧奨うち同意書の提供は74件
②未受診事業所へ受診勧奨する際、事業者健診データ提供も合わせて依頼(健診推進経費活用)	・健診機関による事業所訪問の勧奨委託提出された同意書は46枚
③委託による事業者健診データ取得の推進	・事業者への委託は未実施
特定健康診査(被扶養者)のための受診促進策	実施状況
①任意継続被保険者住所宛に、被扶養者の特定健康診査受診券を別便で送付	・特定健康診査受診券5,020枚を発券、送付
②新規加入者へ受診券を送付	・被保険者住所へ年2回、(8月・11月)計11,761枚を送付
③市町村との連携が難しい地域については、協会主催の集団健診を実施し、特定健康診査の受診拡大を図る	・1月・2月・3月に協会主催の集団健診を昨年より会場数12か所増やし、28会場で実施。受診数は6,650人 自治体との連携は、実施に至っておらず。機会を見て要請
④健診機関の協力のもと、被保険者と同様の生活習慣病予防健診を提供し、受診拡大を図る	・「7. 被扶養者向け生活習慣病予防健診(一般健診)利用状況」のとおり

2. 特定保健指導の推進

◆実施率の推移(%)

29年度は目標13.9%に対して実績4.5%

	26年度	27年度	28年度	29年度
神奈川県	6.0	4.9	3.8	4.5
(参考)埼玉	7.9	6.4	6.6	6.2
(参考)千葉	14.3	11.9	12.6	13.5
(参考)東京	13.1	10.5	9.2	9.3
全国	14.1	12.5	12.9	13.2

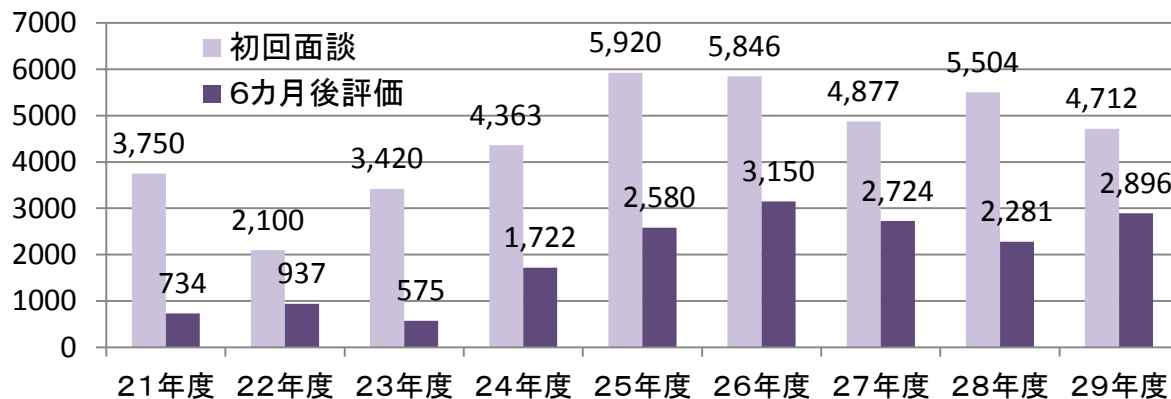


◆29年度受診率の内訳(%)

	被保険者	被扶養者	合計
神奈川県	4.4	7.1	4.5
(参考)埼玉	6.2	4.2	6.2
(参考)千葉	14.0	3.1	13.5
(参考)東京	9.6	2.6	9.3
全国	13.7	4.5	13.2

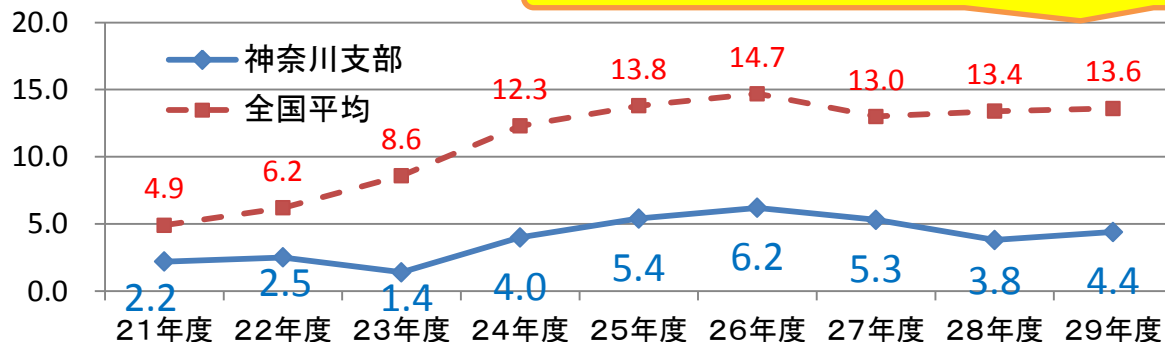
(1) 被保険者向け特定保健指導

① 実施件数(件)



② 6カ月後評価実施率(%)

29年度は目標13.9%に対して実績4.4%



受診者	734	937	575	1,722	2,580	3,150	2,724	2,281	2,896
対象者	33,055	37,509	41,715	43,360	47,382	51,208	51,302	60,385	66,289

前年度実績対比

○被保険者
 動機づけ支援実施者数
 平成29年度 1,641人
 (対前年同期 +320人)
 平成28年度 1,321人

積極的支援実施者数
 平成29年度 1,255人
 (対前年同期 +295人)
 平成28年度 960人

○被扶養者
 動機づけ支援実施件数
 (初回・評価・中断)
 平成29年度 266人

積極的支援実施件数
 (初回・評価・中断)
 平成29年度 98人

※平成28年度
 初回面談166人
 6か月評価66人
 (目標)実施者数 9,755人
 (本人・被扶養者合計)

◆被保険者向け特定保健指導

	初回面談				6カ月後評価				継続率 I/H
	G.対象者数	計画数	H.実施件数	実施率H/G	計画数	I.実施件数	実施率I/G	全国平均 実施率	
	人	人	件		人	件		%	%
21年度	33,055	5,006	3,750	11.3%	2,616	734	2.2%	4.9	19.6
22年度	37,509	6,035	2,100	5.6%	3,978	937	2.5%	6.2	44.6
23年度	41,715	4,244	3,420	8.2%	1,344	575	1.4%	8.6	16.8
24年度	43,360	5,189	4,363	10.1%	4,230	1,722	4.0%	12.3	39.5
25年度	47,382	6,177	5,920	12.5%	2,785	2,580	5.4%	13.8	43.6
26年度	51,208	6,392	5,846	11.4%	3,099	3,150	6.2%	14.7	53.9
27年度	55,038	5,799	4,877	8.9%	3,232	2,702	4.9%	13.0	55.4
28年度	60,385	6,093	5,504	9.1%	4,754	2,281	3.8%	13.4	41.4
29年度	66,289	6,993	4,712	7.1%	9,483	2,896	4.4%	13.6	61.5

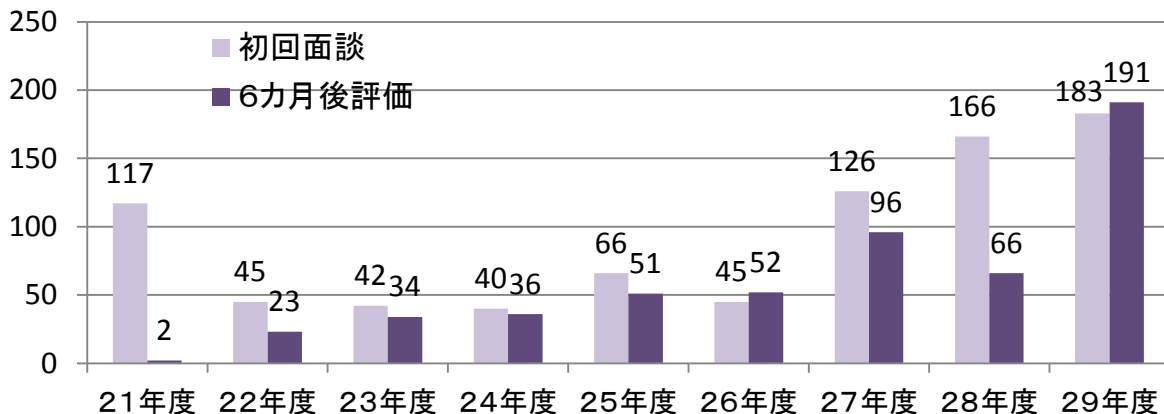
※外部委託で実施分を含む

※21年度の対象者は概算

※29年度対象者数は見込み数

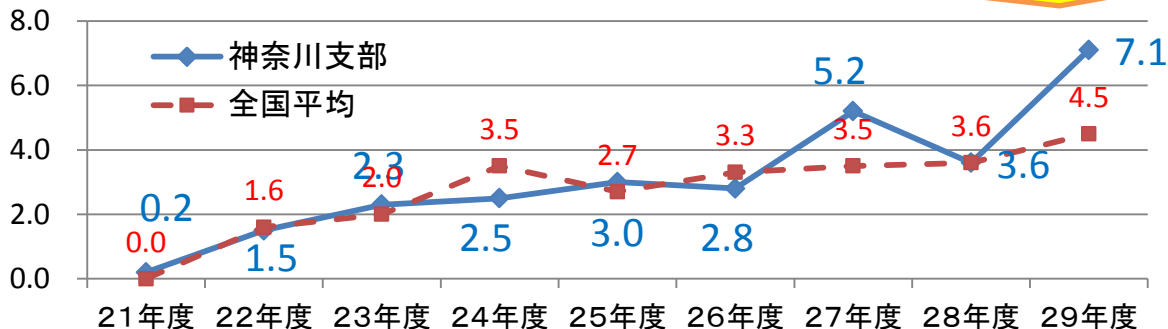
(2) 被扶養者向け特定保健指導

① 実施件数(件)



② 6カ月後評価実施率(%)

29年度は目標12.0%に対して実績7.1%



受診者	2	23	34	36	51	52	96	66	191
対象者	961	1,537	1,500	1,433	1,709	1,867	1,857	1,825	—

前年度実績対比

○被保険者
 動機づけ支援実施者数
 平成29年度 1,641人
 (対前年同期 +320人)
 平成28年度 1,321人

積極的支援実施者数
 平成29年度 1,255人
 (対前年同期 +295人)
 平成28年度 960人

○被扶養者
 動機づけ支援実施件数
 (初回・評価・中断)
 平成29年度 266人

積極的支援実施件数
 (初回・評価・中断)
 平成29年度 98人

※平成28年度
 初回面談166人
 6か月評価66人
 (目標)実施者数 9,755人
 (本人・被扶養者合計)

◆被扶養者向け特定保健指導

	初回面談			6カ月後評価				継続率 L/K
	J.対象者数	K.実施件数	実施率K/J	計画数	L.実施件数	実施率L/J	全国平均 実施率	
	人	件		人	件		%	
21年度	961	117	12.2%	3,980	2	0.2%	-	1.7%
22年度	1,537	45	2.9%	2,058	23	1.5%	1.6	51.1%
23年度	1,500	42	2.8%	140	34	2.3%	2.0	81.0%
24年度	1,433	40	2.8%	100	36	2.5%	3.5	90.0%
25年度	1,709	66	3.9%	55	51	3.0%	2.7	77.3%
26年度	1,867	45	2.4%	105	52	2.8%	3.3	115.6%
27年度	1,857	126	6.8%	128	96	5.2%	3.5	76.2%
28年度	1,825	166	9.1%	235	66	3.6%	3.6	39.8%
29年度	—	183	6.8%	236	191	7.1%	4.5	104.4%

※自支部で実施分を含む

※21年度の対象者は概算

平成29年度の特定保健指導促進策

事業計画	実施状況
<p>①特定保健指導初回面談から3か月経過したものに対し、ステップアップ検査を実施し、効果的な保健指導を展開する</p>	<p>・75健診機関と契約し、621名の申込みがあり。592名実施済</p> <p>※ステップアップ検査とは、特定保健指導の初回面接から3か月の努力を続けられた方が無料で受けることができる検査。 (検査項目は医師の問診以外の特定健康診査項目)</p>
<p>②アウトソーシング先と連携し、保健指導の利用拡大を推進</p>	<p>・特定保健指導機関の事務説明会に、今後特定保健指導の実施を検討している機関にも参加していただき、グループワーク等を通し、情報交換等実施</p>
<p>③セミナー形式による特定保健指導を実施し、被扶養者の特定保健指導の利用拡大</p>	<p>・委託により、4会場で実施し、264名が参加</p>

3. 重症化予防事業

未受診者電話勧奨業務結果

勧奨年度	勧奨者人数	健診受診月 (自)	健診受診月 (至)	血圧 レセプト受付	血糖 レセプト受付	血圧・血糖 両方受診	受診者 純人数	受診率 %
平成27年度	2,935	H26.4	H27.3	358	433	209	582	19.8
平成28年度	2,781	H27.4	H28.3	333	326	169	490	17.6
平成29年度	3,573	H28.4	H29.3	416	508	226	698	19.5

※検証期間は1年だが、レセプト確認期間は「健診受診月4月」は12か月・「健診受診月5月」は11か月と1か月ずつ期間が短くなる。

糖尿病性腎症重症化予防

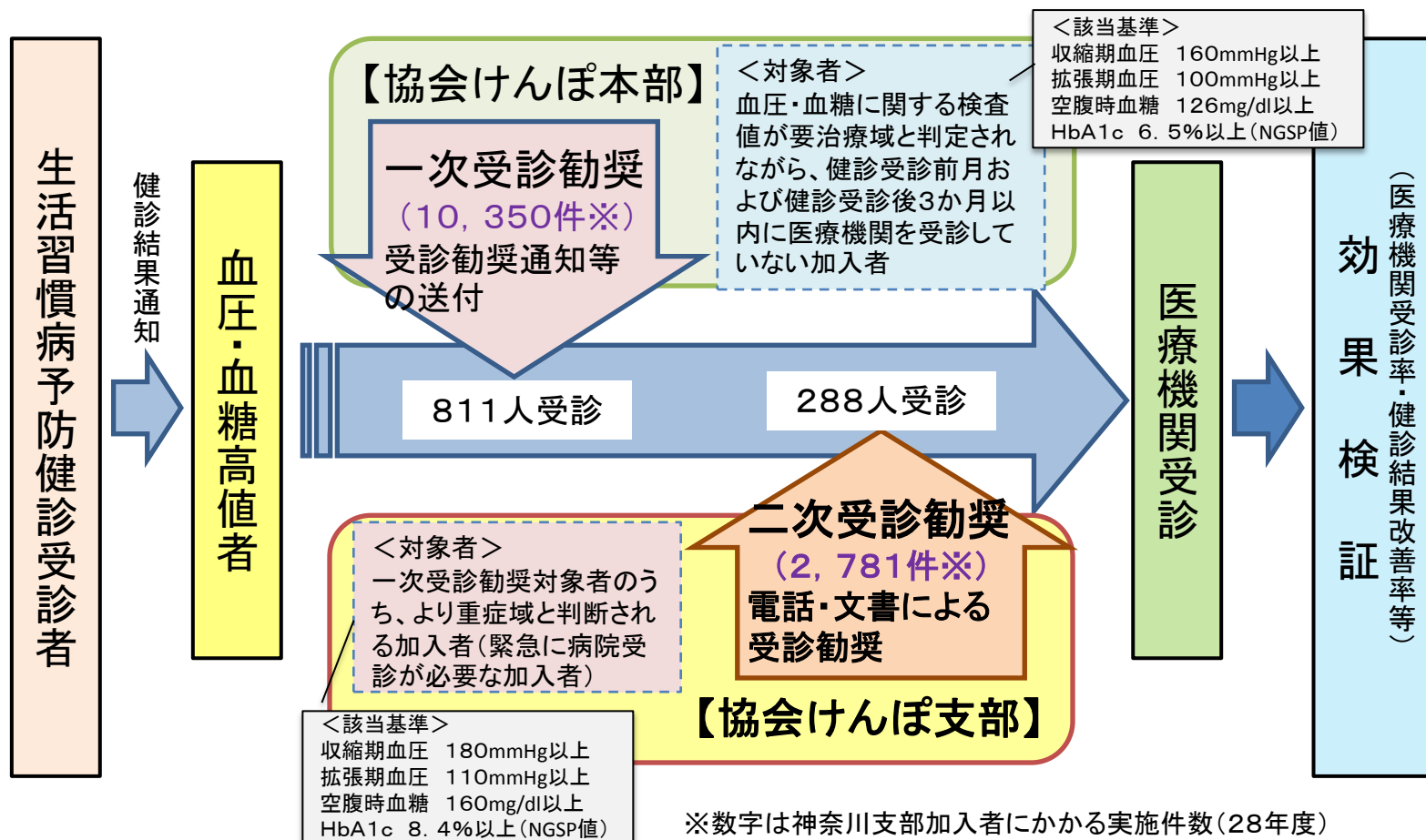
勧奨年度	勧奨者人数	申込み人数	継続支援人数
平成29年度	217	5	4

平成29年度の重症化予防事業促進策

事業計画	実施状況
①生活習慣病予防健診の結果、要治療(血圧・血糖)と判定されながら治療していない加入者に対して、確実に医療に繋げる取組みを進める。	・全国一斉に文書による勧奨を実施。支部独自で値がより高い対象者へ、委託による電話受診勧奨を実施

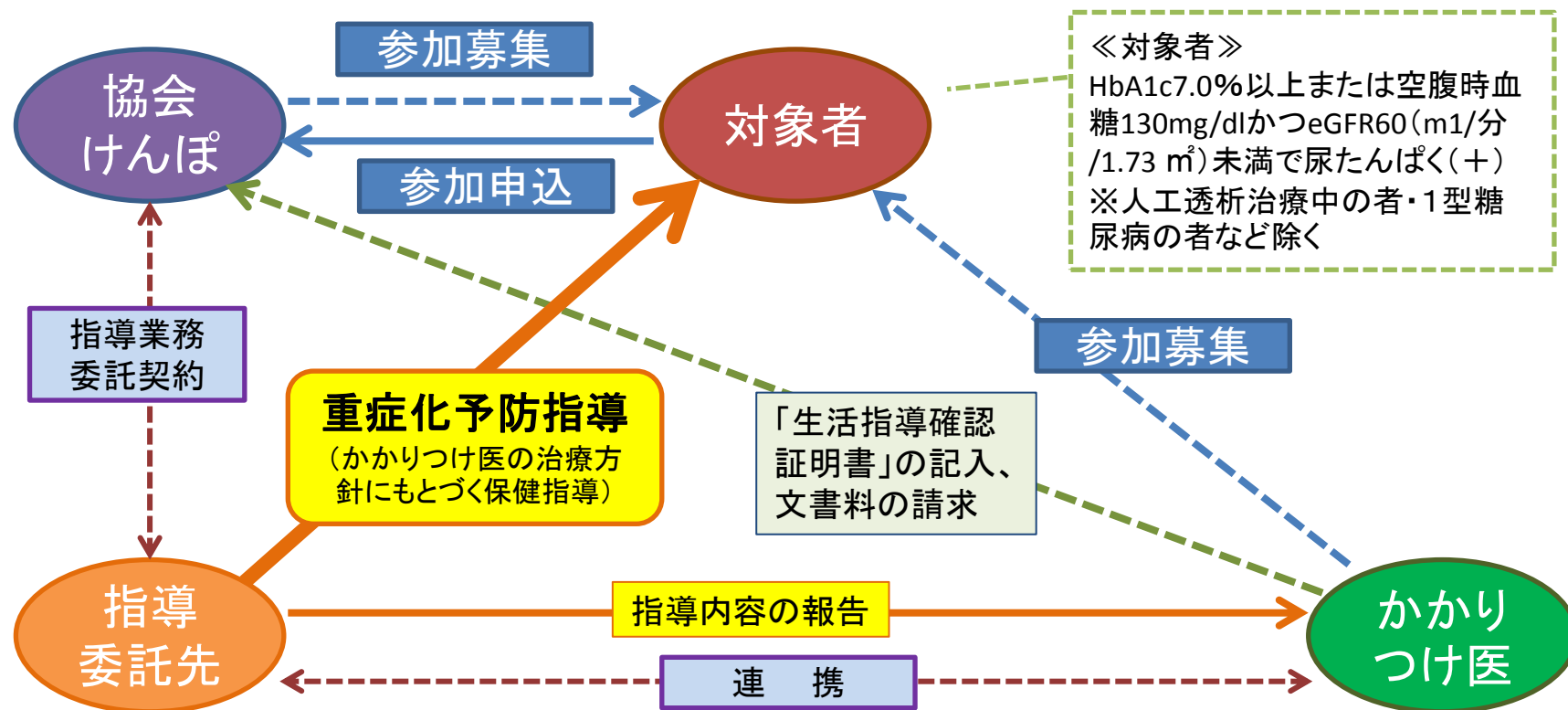
事業計画	実施状況
②糖尿病性腎症患者の透析導入を防ぐために主治医の指示に基づき、保健指導を行う。平成29度は横浜市医師会と調整し、地域限定で実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市国保および横浜市医師会と調整し、保健指導体制を確立。12月より4名の保健指導を開始 ・協定を結んでいる他の自治体と打ち合わせを行うも、具体的には調整が進んでおらず

重症化予防



糖尿病性腎症重症化予防指導プログラム

糖尿病患者にかかりつけ医と連携しながら、糖尿病性腎症重症化予防指導プログラムを実施して、患者が自分で体調管理できるように促す。結果として患者のQOL(生活の質)を高め、人工透析への移行等、糖尿病性腎症の重症化を遅らせる。



4.その他保健事業

事業計画	実施状況
<p>①自治体など他の団体が主催する地域におけるがん検診の受診啓発事業や健康づくり事業に参加し、特定健康診査・特定保健指導の啓発を含め加入者の健康保持増進を図る</p>	<p>・ピンクリボンかながわ2017に参画し、健診機関と協力のもと1会場で血圧、肌水分量などの測定を実施するとともに健診について周知した(ブース来場者300名) 自治体と連携し、5会場で肌水分量などの測定や呼気CO測定や禁煙について啓蒙した(ブース来場者561名)</p>
<p>②県・4市(横浜市・川崎市・藤沢市・相模原市)と締結した健康づくり推進事業にかかる覚書に基づき事業を推進する</p>	<p>・定期的に情報交換実施。特に横浜市と進めている健診・レセプト状況の分析結果は学会や横浜市のホームページにも掲載し周知した また、健康企業宣言のパンフレットにも活用</p>
<p>③事業主等の健康づくり意識の醸成を目指した取組(コラボヘルス)として、「かながわ健康企業宣言」を推進し、参加企業に対し、健康づくりサポートを実施して、事業主を支援する。</p>	<p>・宣言事業所数 30年3月末 98社 (28年10月スタート) ・健康づくりサポート 横浜市・川崎市・藤沢市・保健福祉事務所・産保センター・横浜市体育協会・神奈川県予防医学協会等からの協力のもと、27社でサポートを実施 ・「かながわ健康企業宣言」事業所を訪問し、禁煙意識の醸成も含め、取り組み状況等をフォロー 平成29年度 29社訪問</p>
<p>④データヘルス計画について、PDCAを十分に意識して実行し、目標の達成に努める 第一期の最終年度であり、これまでの経過検証と各情報の分析結果を基に、より支部の実態に即した第二期データヘルス計画を策定する。 データヘルス計画：35歳以上74歳以下の女性の喫煙率が減少することを目標として、保健指導や事業所の取組等を通じ支援する。</p>	<p>・公益財団法人かながわ健康財団と協力し、卒煙塾を開催。6月に6名参加し、うち5名が禁煙フォロー中。事業所へ健診の案内を送付時、禁煙サポートについて広報実施。イベント時に禁煙呼びかけるリーフレット配布。 ※公益財団法人かながわ健康財団が実施する禁煙のための講座 ・35歳以上74歳以下の女性の喫煙率は、全支部で4番目に高く変化は見られなかった。第二期データヘルス計画でも、喫煙対策を含め、循環器疾患対策に取り組む</p>

平成29年度集団健診アンケート調査結果

〈アンケートの実施会場〉

【会場 6】 横浜新都市ホール
会場：横浜市西区高島2-18-1そごう9階
日程：平成30年2月19日（水）10:00～16:00

【会場13】 新百合ヶ丘トウェンティワンホール
会場：川崎市麻生区万福寺1-2-2新百合21ビルB2
日程：平成30年2月5日（月）9:30～15:00

【会場18】 横須賀市立総合福祉会館
会場：横須賀市本町2-1
日程：平成30年2月1日（木）9:30～15:00

【会場23】 綾瀬オーエンス文化会館
会場：綾瀬市深谷3838
日程：平成30年2月7日（水）9:30～15:00

【会場27】 平塚プレジール
会場：平塚市八重咲町3-8
日程：平成30年2月24日（土）9:00～15:00

【会場 10】 旭区民文化センター
会場：横浜市旭区二俣川1-3二俣川ライフ
日程：平成30年3月8日（木）9:30～15:00

【会場16】 相模原市立産業会館
会場：相模原市中央区中央3-12-1
日程：平成30年3月11日（日）9:30～15:00

【会場22】 海老名市文化会館
会場：海老名市めぐみ町6-1
日程：平成30年1月30日（火）9:30～15:00

【会場26】 秦野商工会議所
会場：秦野市平沢2550-1
日程：平成30年1月31日（水）9:30～15:00

【会場14】 小田原お堀端コンベンションホール
会場：小田原市栄町1-4-48ジャンポーナックルビル5階
日程：平成30年2月20日（火）9:00～15:00

平成30年7月30日(月)



全国健康保険協会 神奈川支部

協会けんぽ

平成29年度アンケート集計結果(5月31日受付分まで)

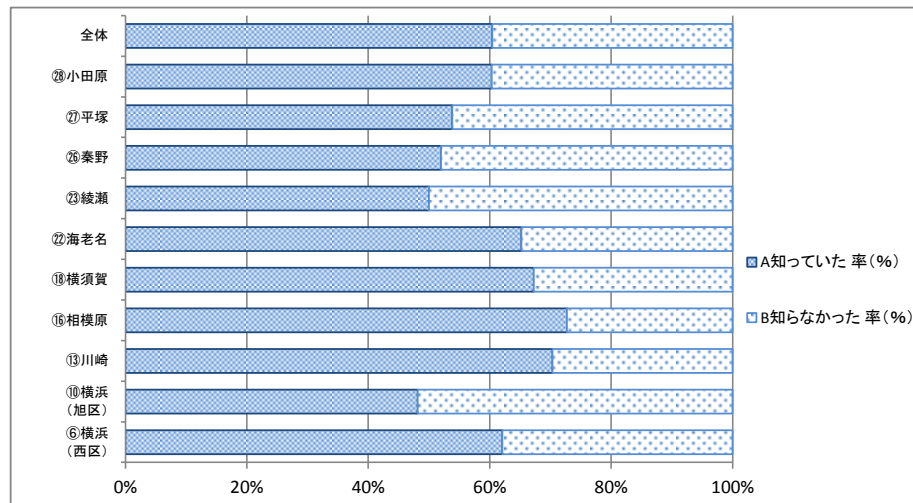
各会場の回答率

	⑥横浜(西区)	⑩横浜(旭区)	⑬川崎	⑯相模原	⑱横須賀	㉒海老名	㉓綾瀬	㉔秦野	㉗平塚	㉘小田原	計	平成28年度全体
A.受診者数	415	164	172	188	307	263	151	146	393	331	2530	1484
B.回答数	66	27	27	33	55	46	38	25	65	58	440	369
C.回答率	16%	16%	16%	18%	18%	17%	25%	17%	17%	18%	17%	25%

＜考察＞
・健診結果送付時にアンケートを同封し、返送していただいた回答率は全体で約17%となった。(前年度より8ポイント減少)

Q1 加入者の40歳以上の方が特定健康診査の受診対象(被補助者)であることをご存知でしたか

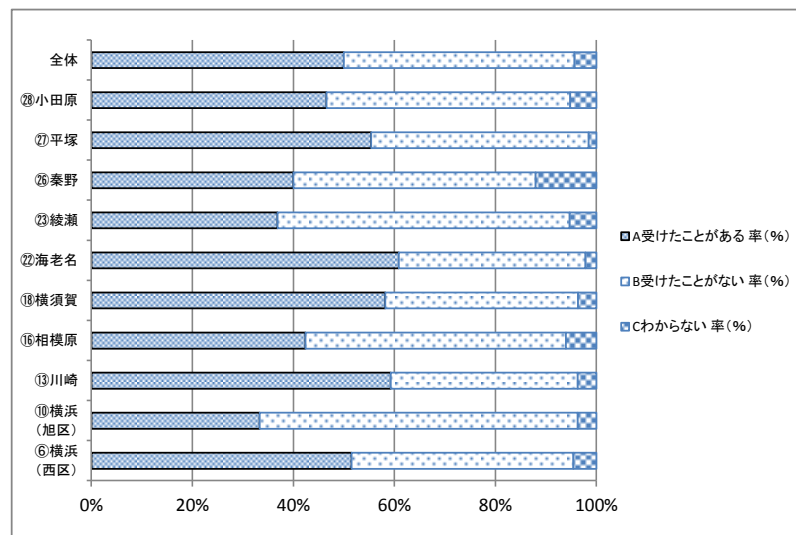
	A知っていた		B知らなかった	
	人数	率(%)	人数	率(%)
⑥横浜(西区)	41	62.1%	25	37.9%
⑩横浜(旭区)	13	48.1%	14	51.9%
⑬川崎	19	70.4%	8	29.6%
⑯相模原	24	72.7%	9	27.3%
⑱横須賀	37	67.3%	18	32.7%
㉒海老名	30	65.2%	16	34.8%
㉓綾瀬	19	50.0%	19	50.0%
㉔秦野	13	52.0%	12	48.0%
㉗平塚	35	53.8%	30	46.2%
㉘小田原	35	60.3%	23	39.7%
全体	266	60.5%	174	39.5%



＜考察＞
全体で6割を超える人が、「A知っていた」という結果となった。「A知っていた」が過半数を下回ったのは横浜(旭区)会場のみであった。

Q2 過去に特定健康診査を受けたことがありますか

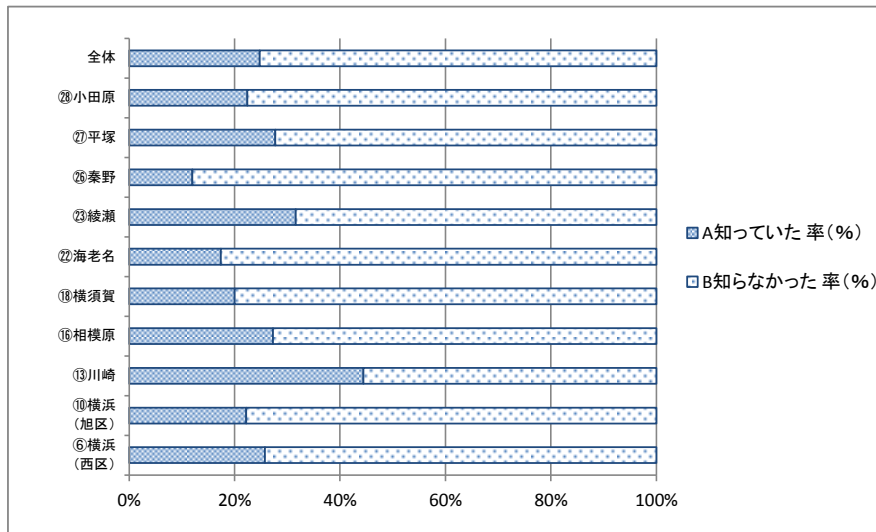
	A受けたことがある		B受けたことがない		Cわからない	
	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)
⑥横浜(西区)	34	51.5%	29	43.9%	3	4.5%
⑩横浜(旭区)	9	33.3%	17	63%	1	3.7%
⑬川崎	16	59.3%	10	37.0%	1	3.7%
⑯相模原	14	42.4%	17	51.5%	2	6.1%
⑱横須賀	32	58.2%	21	38.2%	2	3.6%
㉒海老名	28	60.9%	17	37.0%	1	2.2%
㉓綾瀬	14	36.8%	22	57.9%	2	5.3%
㉔秦野	10	40.0%	12	48.0%	3	12.0%
㉗平塚	36	55.4%	28	43.1%	1	1.5%
㉘小田原	27	46.6%	28	48.3%	3	5.2%
全体	220	50.0%	201	45.7%	19	4.3%



＜考察＞
全体のちょうど半数が「A受けたことがある」と答えているが、「B受けたことがない」と答えた人も同程度あった。特に、Q1でBと答えた人が多かった横浜(旭区)会場受診者において、特定健診を受診したことがないと回答した人が多い結果となった。

Q3 今回は自己負担金無料で健診を受診いただきましたが、お近くの健診機関において500円ワンコインで受診できることをご存知でしたか。

	A知っていた		B知らなかった	
	人数	率(%)	人数	率(%)
⑥横浜(西区)	17	25.8%	49	74.2%
⑩横浜(旭区)	6	22.2%	21	77.8%
⑬川崎	12	44.4%	15	55.6%
⑯相模原	9	27.3%	24	72.7%
⑱横須賀	11	20.0%	44	80.0%
㉒海老名	8	17.4%	38	82.6%
㉓綾瀬	12	31.6%	26	68.4%
㉔秦野	3	12.0%	22	88.0%
㉗平塚	18	27.7%	47	72.3%
㉘小田原	13	22.4%	45	77.6%
全体	109	24.8%	331	75.2%



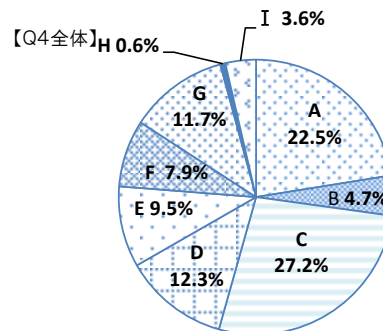
＜考察＞
どの会場においても、多くの人が「B知らなかった」と答えた。その中でも、特に秦野会場において、9割近くが知らなかったと回答した。

Q4 今回の集団健診を利用しようと思った理由。

	A【場所が近い】		B【土日など、希望日に受けられる】		C【個人負担金が無料】		D【申込方法(はがき)が簡単】		E【短時間で受けられる】		F【骨健康度測定などが無料】		G【乳腺などのエコー検査が受けられる】		H【健康相談・栄養セミナーが受けられる】		I【健診項目が充実している】		全体
	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	
⑥横浜(西区)	28	16.4%	10	5.8%	46	26.9%	20	11.7%	17	9.9%	19	11.1%	21	12.3%	2	1.2%	8	4.7%	171
⑩横浜(旭区)	14	20.0%	3	4.3%	20	28.6%	10	14.3%	7	10.0%	6	8.6%	8	11.4%	0	0.0%	2	2.9%	70
⑬川崎	16	21.6%	2	2.7%	18	24.3%	10	13.5%	7	9.5%	9	12.2%	11	14.9%	0	0.0%	1	1.4%	74
⑯相模原	20	21.5%	10	10.8%	27	29.0%	10	10.8%	12	12.9%	3	3.2%	7	7.5%	1	1.1%	3	3.2%	93
⑱横須賀	37	26.4%	2	1.4%	36	25.7%	19	13.6%	14	10.0%	7	5.0%	20	14.3%	0	0.0%	5	3.6%	140
㉒海老名	23	18.4%	4	3.2%	34	27.2%	14	11.2%	15	12.0%	8	6.4%	16	12.8%	3	2.4%	8	6.4%	125
㉓綾瀬	29	30.2%	1	1.0%	28	29.2%	14	14.6%	6	6.3%	5	5.2%	11	11.5%	0	0.0%	2	2.1%	96
㉔秦野	19	29.2%	1	1.5%	19	29.2%	7	10.8%	6	9.2%	5	7.7%	7	10.8%	0	0.0%	1	1.5%	65
㉗平塚	38	21.7%	18	10.3%	45	25.7%	20	11.4%	13	7.4%	18	10.3%	16	9.1%	1	0.6%	6	3.4%	175
㉘小田原	38	24.2%	4	2.5%	44	28.0%	20	12.7%	14	8.9%	12	7.6%	19	12.1%	0	0.0%	6	3.8%	157
全体	262	22.5%	55	4.7%	317	27.2%	144	12.3%	111	9.5%	92	7.9%	136	11.7%	7	0.6%	42	3.6%	1166

J.その他の理由

年齢的にいよいよ心配になってきたから。
病院での受診はいやだったから。集団で受けたほうが気が楽。
勤務先で健康診断を受診できなかったため。
社会保険加入の妻は町の集団健診を受けられなかったため。
自分で日時を決めるより決められた日の方が行くことを決めやすい。
オプションに健診したい項目がいくつかあったので。
案内が来たから。



＜考察＞
どの会場も、会場までの「距離の近さ」と「費用がかからないから」という理由が多かった。特に会場までの距離については、都市部よりも横須賀、綾瀬、秦野等の郊外エリアで優先順位が高いように見受けられる。一方で、セミナー実施による集客力については、今回のアンケート結果では低いものとなった。

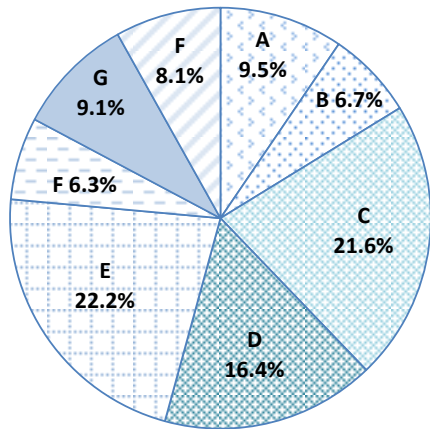
Q5 今まで特定健康診査を受診していなかった理由(Q2でBと回答した人)

	A 【職場の健診を受診している】		B 【受診したい項目がない(又は少ない)】		C 【個人負担額がかかる(又は高い)】		D 【受診の仕方が面倒(又は分からない)】		E 【受ける機会がなかった】		F 【受診できる病院がわからない】		G 【自分で別の健診を受けている】		H 【治療などで同様の検査を受けている】		全体
	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	
⑥横浜(西区)	10	13.9%	3	4.2%	13	18.1%	13	18.1%	17	23.6%	1	1.4%	7	9.7%	8	11.1%	72
⑩横浜(旭区)	5	14.3%	0	0.0%	8	22.9%	4	11.4%	10	28.6%	1	2.9%	7	20.0%	0	0.0%	35
⑬川崎	4	16.0%	3	12.0%	4	16.0%	4	16.0%	4	16.0%	2	8.0%	2	8.0%	2	8.0%	25
⑯相模原	5	12.8%	0	0.0%	11	28.2%	9	23.1%	8	20.5%	3	7.7%	1	2.6%	2	5.1%	39
⑳横須賀	4	6.9%	4	6.9%	12	20.7%	5	8.6%	13	22.4%	3	5.2%	7	12.1%	10	17.2%	58
㉒海老名	5	8.1%	3	4.8%	16	25.8%	12	19.4%	14	22.6%	6	9.7%	4	6.5%	2	3.2%	62
㉔綾瀬	3	6.7%	3	6.7%	12	26.7%	8	17.8%	8	17.8%	4	8.9%	4	8.9%	3	6.7%	45
㉖秦野	3	9.7%	2	6.5%	6	19.4%	5	16.1%	7	22.6%	3	9.7%	3	9.7%	2	6.5%	31
㉚平塚	5	6.8%	11	14.9%	12	16.2%	11	14.9%	16	21.6%	5	6.8%	7	9.5%	7	9.5%	74
㉜小田原	4	6.3%	5	7.8%	15	23.4%	12	18.8%	15	23.4%	4	6.3%	4	6.3%	5	7.8%	64
全体	48	9.5%	34	6.7%	109	21.6%	83	16.4%	112	22.2%	32	6.3%	46	9.1%	41	8.1%	505

I.その他の理由

日程があわなかった。
 病院だとどのように健診を受けるのかわからなかった。申し込みづらかった。
 受診できる病院が遠い。
 知らなかった。
 いままで国保加入だったため。
 健康に自信があるので、毎年受けなくてもいいと思っていた。
 受ける勇気がなかった。今回は本当に場所が良くて受けたと思いました。
 検査結果が不安だったので。

【Q5 全体】



(考察)

どの会場も、「C負担額がかかる(または高い)」ということと、「E受ける機会がなかった」ということが、いままで受診しなかった理由として多かった。
 その次に多かった理由は、受診の仕方が面倒(または分からない)であるという点があがった。

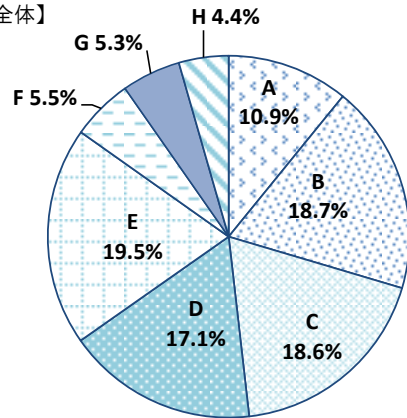
Q6 今後、オプション検査(有料)で受診したい項目はありますか。

	A 【今回と同じ内容でよい】		B 【(肺がん)胸部レントゲン検査】		C 【(大腸がん)便潜血反応検査】		D 【乳房エックス線検査(マンモグラフィ)】		E 【心電図検査】		F 【肝炎ウイルス検査】		G 【お口のセルフチェック(口腔ケア)】		H 【腰痛予防ストレッチ(運動実技)】		全体
	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	
⑥横浜(西区)	10	7.3%	26	19.0%	31	22.6%	23	16.8%	32	23.4%	7	5.1%	7	5.1%	1	0.7%	137
⑩横浜(旭区)	4	6.8%	13	22.0%	12	20.3%	7	11.9%	11	18.6%	6	10.2%	4	6.8%	2	3.4%	59
⑬川崎	6	10.9%	10	18.2%	13	23.6%	9	16.4%	10	18.2%	2	3.6%	2	3.6%	3	5.5%	55
⑯相模原	9	15.0%	9	15.0%	13	21.7%	12	20.0%	10	16.7%	4	6.7%	1	1.7%	2	3.3%	60
⑱横須賀	15	14.3%	20	19.0%	18	17.1%	16	15.2%	20	19.0%	8	7.6%	4	3.8%	4	3.8%	105
㉒海老名	5	6.1%	20	24.4%	12	14.6%	17	20.7%	18	22.0%	3	3.7%	5	6.1%	2	2.4%	82
㉓綾瀬	7	9.5%	11	14.9%	16	21.6%	13	17.6%	12	16.2%	3	4.1%	7	9.5%	5	6.8%	74
㉔秦野	8	18.2%	5	11.4%	9	20.5%	10	22.7%	8	18.2%	2	4.5%	1	2.3%	1	2.3%	44
㉕平塚	18	14.0%	28	21.7%	18	14.0%	20	15.5%	23	17.8%	6	4.7%	8	6.2%	8	6.2%	129
㉖小田原	11	10.0%	18	16.4%	17	15.5%	19	17.3%	23	20.9%	6	5.5%	6	5.5%	10	9.1%	110
全体	93	10.9%	160	18.7%	159	18.6%	146	17.1%	167	19.5%	47	5.5%	45	5.3%	38	4.4%	855

I.その他

胃カメラ・大腸カメラ(内視鏡)
 脳ドック(認知症検査等)
 子宮頸がん検査
 眼の検査(眼圧、緑内障、白内障等)

【Q6全体】



(考察)

心電図検査や胸部レントゲン検査、便潜血反応検査等、生活習慣病予防健診の検査項目について受診を希望する人が多くみられた。
 また、その他意見では、内視鏡検査(特に胃内視鏡)を希望する人が多く見られた。

2. 神奈川支部 第2期データヘルス 計画(概要)について

平成30年7月30日

1. 神奈川支部の現状

①適用状況

適用事業所数・加入者数ともに全国第3位の伸びとなっています。

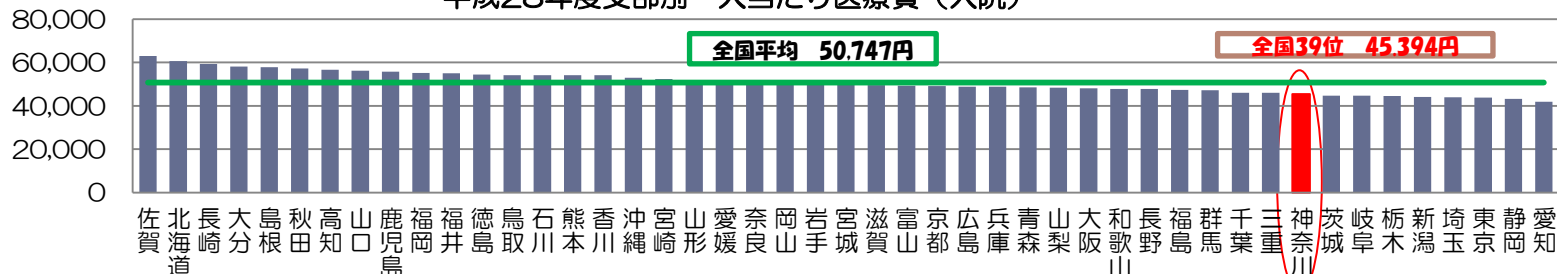
(平成29年11月)

	適用事業所数	被保険者数	被扶養者数	加入者計	平均標準報酬月額
平成29年11月	111,740 事業所	939,788 人	610,885 人	1,550,673 人	317,958 円
前年比 (全国平均)	+11.9% (+6.7%)	+6.5% (+3.7%)	+3.6% (+0.7%)	+5.2% (+2.5%)	+0.7% (+0.9%)
伸び率順位	全国 3 位	全国 4 位	全国 2 位	全国 3 位	全国 40 位

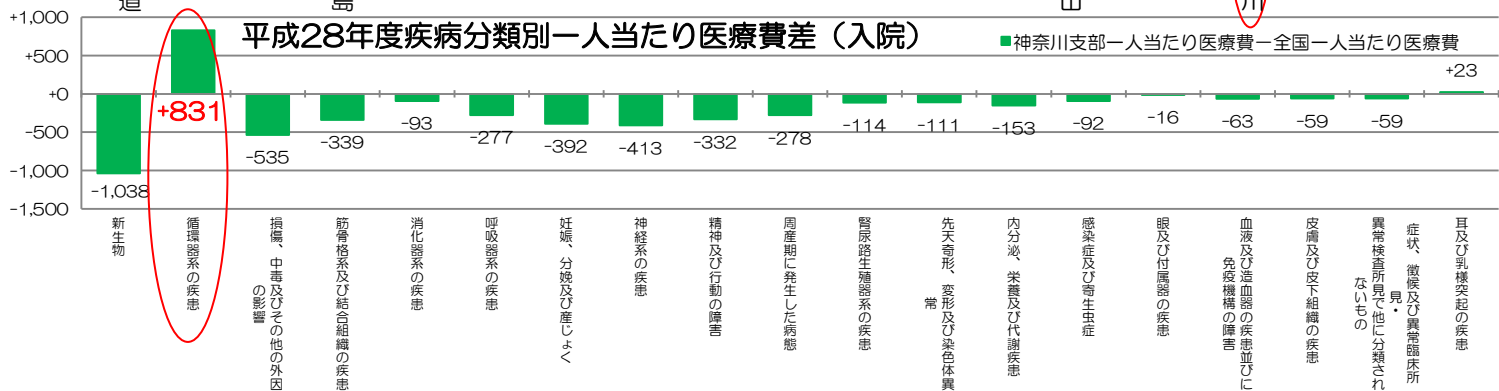
②医療費情報

入院医療費は全国平均以下となっていますが、循環器系疾患の入院にかかる医療費は全国平均比+831円となっています。

平成28年度支部別一人当たり医療費 (入院)



平成28年度疾病分類別一人当たり医療費差 (入院)



③ 健診結果

《リスク保有率》

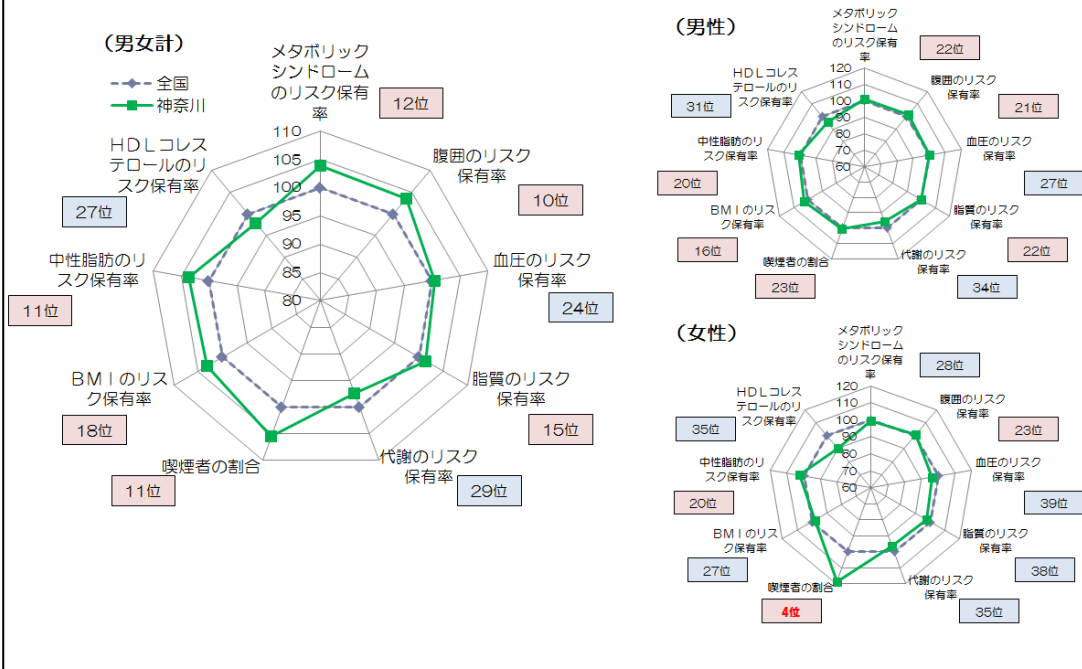
男女別にみた場合、女性の喫煙率以外は突出しているところは見受けられませんが、男女計でみると、9項目中6項目で全国18位以上の高いリスクを保有しています。

《健診データ》

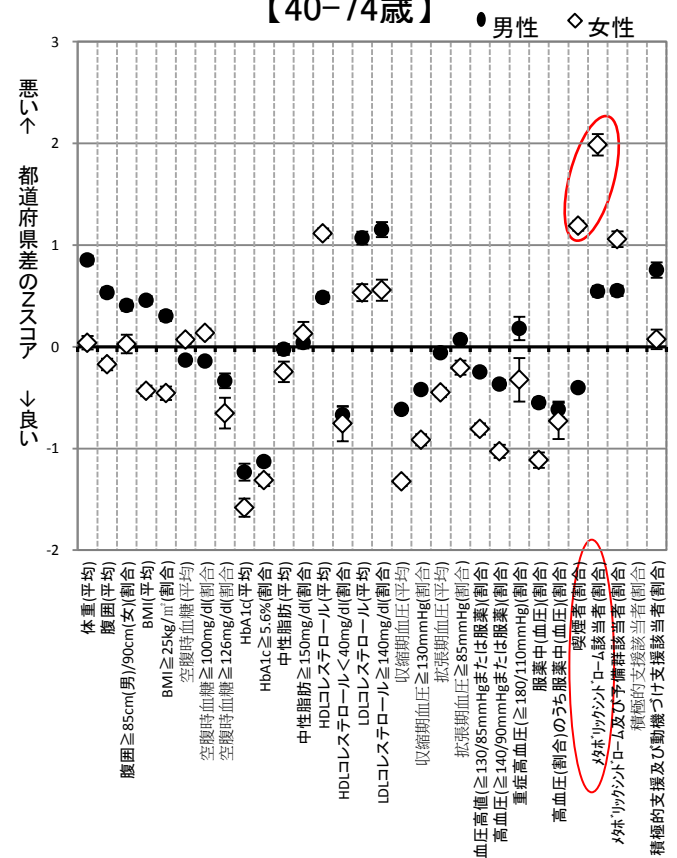
女性の喫煙率及びメタボリックシンドローム該当率が高い状況にあります。

特定健診データの神奈川支部特徴の要約（平成27年度）

平成27年度健診受診者リスク保有率



【40-74歳】



2. 神奈川支部のデータヘルス計画

上位目標【重大な疾患の発症を防ぐ（10年以上経過後に達成する目標）】

○ 循環器系疾患の1人当たり医療費を全国平均以下とする。

神奈川支部の1人当たり入院医療費は全国的に低い水準（全国39位）にあります。このような状況の中、疾病分類別に1人当たり入院医療費を見ると、唯一循環器系疾患の医療費が全国平均を上回っています。

神奈川支部では加入者の皆様の健康寿命の延伸、保険財政健全化のため、循環器系疾患の1人当たり医療費を全国平均以下とするよう取り組みます。

中位目標【上位目標を達成するため、6年後に達成する目標】

○ メタボリックシンドローム該当者の割合を全国平均以下にする。

○ 健診のリスク保有率を全国平均以下にする。

神奈川支部の健診結果を見ると、メタボ該当者の全国比は、男性が1.07倍、女性が1.36倍と高い状況にあります。

また、リスク保有率を見ると、①メタボリスク保有率：全国12位、②腹囲リスク保有率：全国10位、③脂質リスク保有率：全国15位であるなど、多くの項目で全国的に高い(悪い)順位となっています。

神奈川支部では、保健事業の推進により、加入者の皆様のこれら検査値等が改善するよう取り組みます。

3. 「上位目標」、「中位目標」達成に向けての取組み

① 特定健診・特定保健指導の推進

【目標】

- 特定健診受診率（被保険者）を51%*以上とする。
- 特定健診受診率（被扶養者）を20%*以上とする。
- 特定保健指導実施率を14.5%*以上とする。

- ・ 神奈川支部の健診受診率は5割を切っており、半数以上の方の健康状態が把握できていません。また健診後の保健指導の実施率も全国最下位となっており、健診により発見されたリスクへのフォローができていない状況です。
- ・ 加入者の皆様の健康状態を把握し、健診により発見されたリスクに対しの確にフォローするため、保健事業の中核となる特定健診・特定保健指導の実施率を着実に向上させる取組みを行ってまいります。

* 平成29年度実績 特定健診被保険者 49.4%、特定健診被扶養者 21.0%、保健指導 4.5%

具体的な取組

① 特定健診受診率（被保険者）向上のための取組

- ・ 加入者数が急増していることに着目し、新規に加入した事業所への受診勧奨を強化します。
- ・ 健診機関ごとに勧奨による受診件数目標を設定し、達成状況に応じて対価を支払うなど健診機関の取組み強化を促すことで生活習慣病予防健診実施率、事業者健診データの取得率向上を図ります。
- ・ 神奈川労働局や商工会議所と連携し事業者健診データの取得勧奨を実施します。
- ・ 地理情報システム（GIS）を活用し、未受診者に対し居住の近隣で実施する会場健診の案内を送付します。

② 特定健診受診率（被扶養者）向上のための取組

- ・ 未受診者対策として協会主催の自己負担無料集団健診（会場健診）を実施します。
- ・ 昨年、一昨年に上記集団健診を実施した人を対象にオプション検査等を含めた集団健診（有料）を実施します。
- ・ 市町村が行うがん検診との連携強化を図るよう、県、市町村に働きかけを行います。
- ・ 被保険者と同様の生活習慣病予防健診を提供し、受診拡大を図ります。

③ 保健指導実施率向上のための取組

- ・ 健診当日に保健指導ができる実施機関を確保し、保健指導の利用拡大を推進します。
- ・ 委託によるセミナー形式の特定保健指導の展開を図ります。
- ・ 不適切な食習慣の傾向がある事業所へ食育教育を実施します。

3. 「上位目標」、「中位目標」達成に向けての取組み

②重症化予防対策

【目標】

○ 未治療者に対する受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を15% *以上とする。

○ 糖尿病性腎症患者の人工透析移行を30名回避する。

- 健診の結果、治療が必要と判断された場合、早期に医療機関を受診すれば重症化を防ぐことができます。このように医療機関を受診されていない方に対して受診を促し、確実に医療につなげることで生活習慣病の重症化を防ぎ、医療費適正化及びQOLの維持を図ります。
- 糖尿病患者にかかりつけ医と連携して保健指導を実施し、患者が自分で体調管理できるよう促します。結果として患者のQOLを高め、人工透析への移行等、糖尿病性腎症の重症化を遅らせます。

* 平成29年度実績 10.9%

具体的な取組

① 未治療者への受診勧奨

- 生活習慣病予防健診受診者のうち血圧・血糖に関し検査値が要治療域と判断されながら医療機関を受診していない加入者に医療機関への受診を勧奨する文書を送付します（一次勧奨）。
- 一次勧奨対象者のうち、より重症域と判断される加入者に医療機関への受診勧奨を電話・文書で行います（二次勧奨）。

② 糖尿病性腎症重症化予防

- 糖尿病患者にかかりつけ医と連携しながら、糖尿病性腎症重症化予防指導プログラムを実施して患者が自分で体調管理できるよう促す取組みを行います。

3. 「上位目標」、「中位目標」達成に向けての取組み

③健康経営への取組

【目標】

○ 健康企業宣言事業所を300件（50件/年）*増やす。

- ・従業員の健康管理や健康づくりを「投資」と捉え、企業が従業員の健康増進に取組む「健康経営」が注目されています。神奈川支部では健康経営をサポートし、企業と一緒に職場の健康づくりに取組みます。

*平成30年3月現在 98件

具体的な取組

- ・ かながわ健康企業宣言事業所に対し、職場の健康づくりに対する支援を行ってまいります。
- ・ 様々な広報を活用し、かながわ健康企業宣言事業所の更なる拡大を図ってまいります。
- ・ 事業所訪問及び取組内容の聞き取りを実施して、好事例等の情報を他の事業所へ展開します。

④その他の保健事業

【目標】

○ 喫煙者の割合を30% *以下にする。

- ・ 神奈川支部は喫煙者の割合が他支部加入者と比較して高い（特に女性は全国第4位）状況にあります。禁煙により上位目標に掲げている「循環器系疾患」のリスクは減少すると考えられるので、神奈川支部では喫煙者数の割合の減少を図る取組みを行います。

*平成28年度実績 35.9%

具体的な取組

- ・ 健診受診時に禁煙に関するリーフレットを配布します。
- ・ 保健指導の際には、喫煙者に対して必ず短時間支援を実施します。
- ・ 禁煙講座を紹介するなど禁煙をサポートします。
- ・ 事業所訪問及び取組内容の聞き取りを実施して、好事例等の情報を他の事業所へ展開します。

3. 平成30年度の保健事業の計画・進捗状況 について

平成30年7月30日

健診の推進(30年度の取り組み)

■KPI 特定健診受診率 : 46.0%

	生活習慣病予防健診(40歳以上)	事業者健診データ取得	被扶養者特定健診	<合計>
対象者数	592,051		165,532	757,583
実施計画	302,072	15,000	31,114	348,186
実施率(計画)	51.0%	2.5%	18.8%	46.0%
実施率(29年度)	48.2%	1.2%	21.0%	43.3%

●主な施策(計画)

・現在までの進捗

生活習慣病予防健診	<ul style="list-style-type: none"> ・新規適用事業所に対するタイムリーな勧奨の実施 ・地理情報システム(GIS)活用による会場健診案内の送付など 	<ul style="list-style-type: none"> ・文書3,667件、電話837件 ・12月～1月にかけて実施予定受診率4.7% 30,521件
事業者健診データ取得	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県労働局との連名によるデータ提供依頼文書の送付 ・商工会議所(3か所)との連携による健診データの取得推進など 	<ul style="list-style-type: none"> ・326件(6月実施) ・鎌倉、藤沢、川崎、横須賀の4か所へ依頼済 取得率0.04% 245件
被扶養者特定健診	<ul style="list-style-type: none"> ・未受診者を対象とした自己負担無料集団健診(会場健診)の実施 ・市町村が実施する「がん検診」との連携強化 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月～3月にかけて実施予定

保健指導の推進(30年度の取り組み)

■KPI 特定保健指導実施率 : 14.5%

	被保険者(協会保健 師実施分)	被保険者(アウト ソーシング分)	被扶養者	<合 計>
対 象 者 数	65,312		1,844	67,156
実 施 計 画	3,691	5,691	326	9,708
実施率(計画)	5.7%	8.7%	17.7%	14.5%
実施率(29年度)	4.4%		7.1%	4.5%

●主な施策(計画)

- ・健診機関による健診当日の保健指導実施(初回分割実施など)
- ・保健指導委託機関間の好事例等の情報共有化
- ・委託によるセミナー形式の特定保健指導(被扶養者向け)の実施
- ・保健師等のマンパワー不足への具体的対応策の検討 など

・現在までの進捗

- ・30年度新たに5機関と契約
- ・2月の事務説明会で実施予定
- ・6月に川崎で実施15名参加
- ・継続支援の委託および本部と協議し採用情報工夫予定
- 実施率0.7% 実施数506件

重症化予防対策(30年度の取り組み)

■KPI 受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合：11.6%以上

①未治療者対策

【30年度の数値目標】 電話による二次勧奨件数：3,265件

②糖尿病性腎症重症化予防指導プログラム

【30年度の数値目標】 主治医の指示にもとづく保健指導件数：15件

●主な施策(計画)

- ・健診の結果、要治療と判定されながら治療していない者に対して、委託による受診勧奨を実施する
- ・糖尿病性腎症患者の透析導入を防ぐために主治医の指示に基づき、保健指導を行う。

・現在までの進捗

- ・電話による二次勧奨708件
- ・保健指導開始件数25件

健康経営への取組

○健康企業宣言事業所数

【30年度の数値目標】 年度末事業所数：150社（平成29年度末 98社）

●主な施策(計画)

- ・広報誌を活用した周知広報の実施
- ・健康保険委員セミナー等で制度説明と募集を実施
- ・横浜市と協働で、互いの健康経営事業の広報に併せた広報の実施
- ・条件を絞って抽出した事業所への周知広報

- ・事業所訪問及び取組内容の聞き取りを実施し、好事例等の情報を他の事業所へ展開する

・現在までの進捗

- ・9月掲載に向け調整中
- ・9月開催セミナーで募集予定
- ・横浜市と実施時期調整中
- ・健診結果データを分析済
- ・リスク保有割合の高い地域の事業所に勧奨実施予定
- ・7月までに19事業所訪問

その他の保健事業

○特定保健指導3カ月経過者に対する「ステップアップ検査」を利用し、効果的な保健指導を展開する。

【30年度の数値目標】ステップアップ検査実施件数：1,404件

○自治体など他の団体が主催する地域におけるがん検診の受診啓発事業や健康づくり事業に協力参加し、特定健診・特定保健指導の啓発を含め加入者の健康保持増進を図る。

●主な施策(計画)

- ・特定保健指導3カ月経過者に、ステップアップ検査の案内を送付
- ・自治体やピンクリボン主催のイベントに参加し、血圧などの計測および健康相談を実施するとともに健診等の案内を配布

・現在までの進捗

- ・1,546名に案内送付211名申込み
- ・6月に開催されたイベントへ参加。ブース来場者54名

～ 平成30年度からインセンティブ（報奨金）制度を導入～

皆様の取組で保険料率が変わる！！

※ 平成30年度の取り組み結果は、平成32年度の保険料率に反映されます。

協会けんぽでは、医療費の適正化を進めるため、平成30年度から新たに「インセンティブ（報奨金）制度」を導入しています。この制度は、皆様の取組を5つの評価指標で評価し、その結果に応じて、インセンティブ（報奨金）を付与し、「健康保険料率」を引き下げます。引き下げには皆様の積極的な関与が必要となります。協会けんぽ神奈川支部も皆様の取組を全力でサポートいたしますので、ともに取組んでいきましょう！

何を評価されるの？ 何をすればいいの？



5つの評価指標

皆様をお願いしたいこと

1

後発医薬品の
使用割合

- 医療機関でお薬が処方される場合、医師や薬剤師に「ジェネリック医薬品」の希望を伝え、積極的に使用してください。



2

特定健診等の
受診率

- 協会けんぽの健診を毎年必ず受診してください。
- 協会けんぽの健診以外（事業者健診）を実施の事業所は、健診結果を協会けんぽへ提供してください。



3

特定保健指導の実施率

- 健診結果で「生活改善が必要」と判定された場合には、特定保健指導を受けてください。



4

特定保健指導対象者の
減少率

- 特定保健指導の対象にならないよう、日ごろからの健康づくりを心がけましょう。
- 特定保健指導は保健師等の指示に従い最後まで継続してください。



5

受診勧奨を受けた要治療者の
医療機関受診率

- 健診の結果、「血圧、血糖値が要治療（再検査含む）」の場合は、必ず病院を受診してください。
- 従業員の健診結果を把握し、「要治療者」に受診を促してください。



協会けんぽ神奈川支部

〒240-8515
横浜市保土ヶ谷区神戸町134
横浜ビジネスパークイーストタワー2階
045-339-5533（代表）
お電話のお掛け間違いにご注意ください。

協会けんぽ



<https://www.kyoukaikenpo.or.jp>

評価方法

まず、制度の財源となる保険料率として、新たに全支部の保険料率の中に0.01%（※）を盛り込みます。

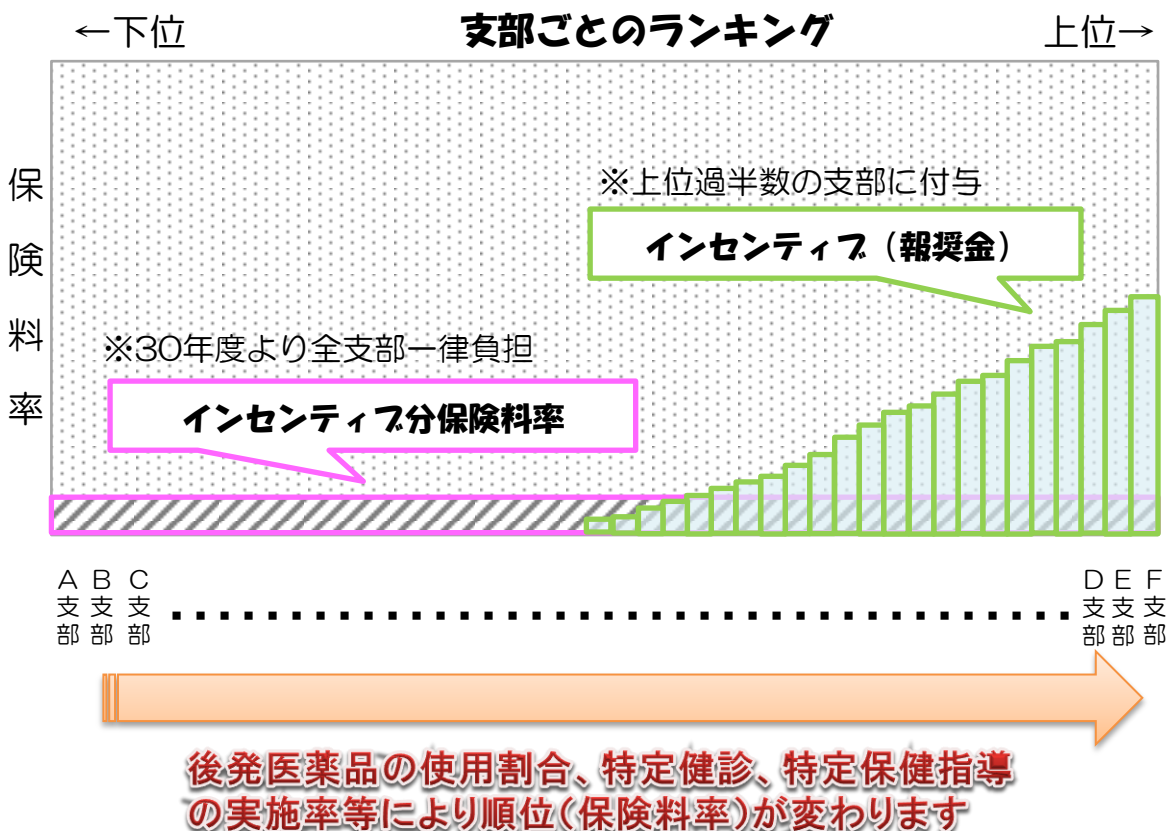
その上で特定健診や保健指導の実施率やジェネリック医薬品の使用割合等の評価指標（表面参照）に基づき、全支部をランキング化し、ランキング上位過半数の支部に得点数に応じた報奨金を付与して保険料率の引き下げを行います。

（※）この0.01%は3年間で段階的に導入されます。

平成30年度（保険料率への反映は平成32年度）	：	0.004%		
⇒平成31年度（	//	平成33年度）	：	0.007%
⇒平成32年度（	//	平成34年度）	：	0.01%

制度のイメージ

インセンティブ制度では、全支部一律の保険料率である後期高齢者医療への仕送金に係る保険料率（平成29年度で2.10%）に反映する仕組みとなっています。



平成27年度および28年度のデータを用いたシュミレーション結果では、神奈川支部の順位は全国46位であり、インセンティブ（報奨金）の付与を受けることができず、財源負担のみ発生する結果となっています。

協会けんぽ神奈川支部も皆様の取組を全力でサポートいたしますので、
ともに取組んでいきましょう！！



横浜銀行と協会けんぽ(全国健康保険協会)はみなさまの健康づくりを応援します。

協会けんぽ加入者さま限定

横浜銀行 特別金利定期預金のご案内

取扱期間:2018年8月1日(水)~2019年5月31日(金)

取扱予定額に達した場合、上記期間内であっても、取り扱いを終了する場合があります。金利環境の変化等により、予告なく内容・条件を変更したり、取り扱いを中止する場合があります。



※画像はイメージです。

“10万円以上お預け入れにて”
3か月ものスーパー定期 初回特別金利

年0.20%

(税引後 年0.15937%)

事業所名称 ○○ 株式会社
 保険者番号 011010016
 保険者名称 全国健康保険協会 ○○支部
 保険者所在地 ○○市○○区○○町○○-○○

※保険者名称をご確認ください。

例えば

【1,000万円をお預け入れの場合、3か月(92日)でお受け取りになるお利息の計算例】

1,000万円×0.20%×92日/365日=5,041円(税引前利息) 5,041円-1,024円(税金)=4,017円(税引後利息)

※特別金利は初回お預け入れ時のみ適用となります。

満期後のお書き替えの際は、その時点での店頭表示金利を適用します。

(2018年7月17日現在のスーパー定期(3か月・300万円未満)の店頭表示金利は年0.010%(税引後年0.0079685%)です。)

最新の金利は、店頭もしくは横浜銀行ホームページをご確認ください。

対象となる方

協会けんぽに加入されていて、2018年6月1日(金)以降に健康診断を受診された個人のお客さまで新たなご資金(※)で定期預金を作成の方。

※ご本人さまがすでに横浜銀行にお預け入れになっている資金は除きます(2018年7月27日(金)以降、横浜銀行に預け入れされている各種預金を中途解約もしくは出金し、他行に資金をお預け入れ後、その資金を再度現金もしくは振込等により入金された場合も対象外となります)。

お取引内容

10万円以上の期間3か月のスーパー定期(自動継続のみ)を窓口(店頭)で預け入れされた場合、初回3か月間特別金利を適用します。

ご契約に必要なもの

- ① 健康保険証ならびに健康診断を受診した証明(健診結果、領収書等)
- ② 本人確認書類

※①②を持参されない場合は上記特別金利での定期預金の作成はできません。

預入金額

お一人さま10万円以上、1,000万円まで。分割して作成する場合も1口10万円以上とします。

「協会けんぽ加入者さま限定横浜銀行特別金利定期預金」のお申し込みの際のご注意事項

- 品川支店、五反田駅前支店、田町支店、恵比寿支店では本定期預金の取り扱いをしていません。
- お申し込みは窓口(店頭)のみとなります。ATM、(はまぎん)マイダイレクト(インターネットバンキング・テレフォンバンキング)でのお取り引きは対象となりません。
- 特別金利適用中のスーパー定期を中途解約すると、特別金利は適用されず、預け入れ日から解約日までの所定の中途解約利率が適用となります。
- スーパー定期についての詳細は、横浜銀行店頭に説明書を用意しています。詳しくは横浜銀行窓口までお問い合わせください。

本定期預金に関するお問い合わせは

横浜銀行コンタクトセンター
ハローサービス

☎0120-188-824

(電話受付時間) 平日、土日：午前9時～午後5時
※土日以外の祝日・振替休日、12月31日～1月3日、5月3日～5月5日はご利用できません。

Afresh あなたに、あたらしく。

2018.7(使用期限:2019年5月31日まで)

横浜銀行SNS公式アカウント

キャンペーンや地域情報など配信中!

LINE@
ID:@boy0138



https://www.facebook.com/
OfficialBankofYokohama



ATMを
おトクに! ゼロ手数料

協会けんぽ神奈川支部にご加入の皆様へ！

意外と役立つ 情報をお届けします

登録
無料

毎月1回、メールマガジンを配信しています！

配信イメージ

協会けんぽ神奈川支部 メールマガジン

平成30年6月15日配信【第78号】

1. 今月の健康レシピ ～ごぼうと牛肉の生姜しぐれ煮～

しょうがのさわやかな香りと、歯ごたえが残る甘辛味のごぼうがご飯に合う一品です。

腸内環境を整えることで、免疫力のアップが期待できます！

梅雨時のじめじめした日々を乗り越えていきましょう。

協会けんぽ神奈川支部 HPから
ご登録いただけます！

<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/kanagawa/>

※利用規約(裏面)に同意のうえ、ご登録ください。ご登録後、当支部から登録確認メールが届きます。登録確認メールが届かない場合は、登録内容をご確認のうえ、再度ご登録をお願いします。(メールが届かない例)メールアドレスの誤入力、迷惑メール設定 等

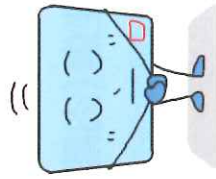


こちらからも
ご登録いただけます。

お問い合わせ：協会けんぽ 神奈川支部 045-339-5523(企画総務グループ)

・・・ お願い ・・・

治療内容についてお尋ねすることがあります。



負傷(ケガ)の原因や治療日、治療箇所などについて、文書にて照会させていただきますことがあります。

受診の記録や領収書を保管いただき、照会がありましたら、回答にご協力いただきますようお願いいたします。

・・・ ご注意ください ・・・

健康保険を使って治療を受けたのちに、あとから健康保険の対象外であることが判明した場合は、健康保険が負担した医療費(7~9割)の返還が必要となります。

健康保険をつかって接骨院・整骨院で施術を受ける際は、必ずはじめに痛みの原因を伝えて健康保険が使えるかを確認してください。

健康保険を使って接骨院・整骨院に かかる際のフローチャート

◆ 痛みの原因は??

- ① 原因のはっきりしている、急性(又は亜急性)の外傷による痛み。
- ② 原因不明の痛み。内科的病気が原因の痛みや、日常生活で起こる慢性的な痛みやコリ。



②の場合健康保険はつかえません。

◆ 通勤途中や仕事中の負傷ですか??

- ① 通勤途中・仕事上の負傷ではない。
- ② 通勤途中・仕事上の負傷である。



②の場合健康保険はつかえません。
(労災保険へご請求ください。)

◆ 医師の治療を受けていますか??

- ① 受けていない。
- ② 並行して受けている。



②の場合健康保険はつかえません。

健康保険が使えます。

注意
骨折・不全骨折(ひび)、脱臼の場合は応急手当を
除き、医師の同意が必要です。

その施術、保険対象? 保険外?

ただしい接骨院・整骨院の かかりかた

柔道整復師が施術を行う接骨院・整骨院では、

健康保険の対象となる場合と

対象とならない場合があります。

健康保険の使えるケースを理解して、

接骨院・整骨院に正しくかかりましょう。



全国健康保険協会 神奈川県支部
協会けんぽ

協会けんぽ神奈川支部

年金事務所内協会けんぽ 出張相談窓口終了のお知らせ

協会けんぽ神奈川支部では、協会けんぽ設立時に経過的に年金事務所内に出張相談窓口を設置してきましたが、お客様のご利用状況を踏まえて、年金事務所内協会けんぽ出張窓口のうち、**港北・高津・相模原・小田原・横須賀・藤沢**について、平成30年9月末をもって終了させていただきました。

お客様にはご不便をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

平成30年9月末をもって終了した窓口
港北・高津・相模原・小田原・横須賀・藤沢

- ・横浜中・川崎の出張窓口は引き続き開設しております。
- ・年金等に関するご相談につきましては、引き続き年金事務所の窓口にてご相談ください。

郵送申請にご協力ください

協会けんぽへの申請・届け出は郵送で行うことができます。各種申請につきましては、ご面倒をお掛けいたしますが、**「協会けんぽ神奈川支部」あてに直接郵送**いただきますようお願いいたします。

※郵便番号「240-8515」を記載していただければ住所を省略することができます。ただし、宛名は必ずご記載ください。

お問い合わせ先 全国健康保険協会 神奈川支部
〒240-8515 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークイーストタワー2階
電話045-339-5533(代表) 受付:8:30~17:15(土・日・祝日・年末年始を除く)



(ホームページはこちらからご覧いただけます)

協会けんぽ神奈川支部 年金事務所内協会けんぽ出張窓口・支部窓口

※平成30年10月以降も開設している窓口は下記の3か所となります。

横浜中年金事務所(2階)

所在地:横浜市中央区相生町2-28

受付時間

平日(月曜~金曜)
8:30~12:00 13:00~17:15
(12:00~13:00は不在となります)

休業日

土曜、日曜、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)

アクセス

JR京浜東北線・横浜線、横浜市営地下鉄「関内駅」
下車 徒歩7分
横浜市営バス「市庁舎前バス停」下車 徒歩5分
駐車場 なし



川崎年金事務所(2階)

所在地:川崎市川崎区宮前町12-17

受付時間

平日(月曜~金曜)
8:30~12:00 13:00~17:15
(12:00~13:00は不在となります)

休業日

土曜、日曜、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)

アクセス

JR「川崎駅」または京浜急行線「京急川崎駅」下車
徒歩15分
JR「川崎駅」東口より川10系統水江町行きまたは
川05系統東扇島循環行き「教育文化会館前バス
停」下車 徒歩2分
駐車場 なし



※上記2か所の出張窓口には電話がありませんので、下記の神奈川支部へお問い合わせください。

全国健康保険協会 神奈川支部

所在地:〒240-8515 横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークイーストタワー2階

受付時間

平日(月曜~金曜) 8:30~17:15

休業日

土曜、日曜、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)

アクセス

相鉄線「天王町」下車徒歩5分
JR「保土ヶ谷駅」下車 徒歩15分
※JR「保土ヶ谷駅」西口より横浜ビジネスパーク行き
無料シャトルバスがあります、ご利用ください
駐車場 なし(近隣の有料駐車場をご利用ください)

お問い合わせ電話番号

045-339-5533(代表)
045-339-5543(任意継続・保険証等・給付金など)
045-339-5544(レセプト・交通事故・医療費通知など)
045-339-5565(健診・保健指導・健康づくり事業など)



協会けんぽ神奈川支部

年金事務所内協会けんぽ 出張相談窓口終了のお知らせ

平成30年9月末をもって、下記の協会けんぽ出張相談窓口は終了いたしました。

平成30年9月末終了窓口
港北・高津・相模原
小田原・横須賀・藤沢

- ・横浜中・川崎の出張相談窓口は引き続き開設しております。
- ・年金等に関するご相談につきましては、引き続き年金事務所の窓口にてご相談ください。

郵送申請にご協力ください

協会けんぽへの申請・届け出は郵送で行うことができます。

各種申請につきましては、ご面倒をお掛けいたしますが、**「協会けんぽ神奈川支部」あてに直接郵送**いただきますようお願いいたします。

※郵便番号「240-8515」を記載していただければ住所を省略することができます。

ただし、宛名は必ずご記載ください。

お問い合わせ先 全国健康保険協会 神奈川支部

〒240-8515 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークイーストタワー2階

電話045-339-5533(代表) 受付:8:30~17:15(土・日・祝日・年末年始を除く)



(ホームページはこちらからご覧いただけます)

30年9月末をもって 協会けんぽ出張相談窓口は 終了いたしました

郵送申請にご協力ください

協会けんぽへの申請・届け出は郵送で行うことができます。

各種申請につきましては、**「協会けんぽ神奈川支部」あてに直接郵送**
いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先 全国健康保険協会 神奈川支部

〒240-8515 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークイーストタワー2階

電話045-339-5533(代表) 受付:8:30~17:15(土・日・祝日・年末年始を除く)



協会けんぽ出張相談窓口の終了 にともない、健康保険給付等の 申請書を撤去いたしました

協会けんぽの各種申請書は、ホームページからダウンロードでき
ます

全国のコンビニエンスストアに設置してあるマルチコピー機で即
時に印刷できます（有料です 1枚あたり20円かかります）
詳しくは下記までお問い合わせください

お問い合わせ先 全国健康保険協会 神奈川支部

〒240-8515 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークイーストタワー2階

電話045-339-5533（代表） 受付：8:30～17:15（土・日・祝日・年末年始を除く）

